

# 富士中だより

八丈町立三根学園富士中学校 令和4年2月18日 第10号  
ホームページ <http://www.hachi.jomachi-tyky.ed.jp/fuji-jhs/>

◇ 学校教育目標 ◇  
自ら進んで学ぶ生徒  
人や自然を愛する生徒  
健康でねばり強い生徒

## 「やりがい」そして「感謝」という言葉

副校長 榎本 秀子

島に長く住んでいる方々が、「今年の冬は風の強い日が多くて寒い」とおっしゃいます。寒い外では、道路工事を行っている人、草刈りをして土地を整備する人をはじめ、空港や漁港では、朝早くから滑走路や船の点検・整備をする人を見ることができます。2月の朝早い時間はまだ夜が明けていませんから、寒くて暗い中での作業となります。そのような中で毎日外での仕事に携わっている方々のおかげで、私達の生活は成り立っています。あるテレビの番組を見ていますと、そのような外での仕事に携わる方々が、「この仕事をする事で、みんながより快適な生活ができるから、やりがいがある」、「知らない人からご苦労様と声を掛けられることでやりがいを感じるし、とてもうれしくなる」、「子ども達には働いている大人の姿を見ることで、何かを感じて欲しい」という言葉を聞くことができました。

「やりがい」という言葉の意味を調べると、「物事に対する充足感・手応え・張り合い」とあります。また、同じ内容の仕事でも、仕事に携わる人の性格や価値観で「やりがい」は異なり、自分のスキルや能力等との関連性があるようです。どんなに仕事内容に満足していても、残業やストレスの度合い、余暇と仕事とのバランス、相応の報酬が得られているか等ということが関わるそうです。そして、自分のやったことが人から感謝される、人の役に立っているという感覚を得られることで、「やりがい」があると感じることができるということです。

では、中学生が「やりがい」を感じることは何でしょうか。中学生は、毎日の勉強はもちろん、生徒会活動、実行委員や係活動等役割を分担して学校生活を営んでいます。家庭では予習、復習、宿題をやって授業に備え、家族のお手伝いや体力向上のために自主的に運動をしている人も見られます。「やりがい」を感じて一生懸命に勉強する人もいますし、生徒会活動や実行委員、係として「やりがい」を感じて役割を果たしている人もいます。

勉強では、「基礎コンテストで〇点とる」、「ノートコンテンツで表彰を受ける」、「定期考査の点を上げる」等目標を設定し、目標達成を目指します。1、2学期の定期考査前の補充教室では、問題の解き方を質問する人、学習方法を質問する人、こんな工夫をしたので見てくださいという人もいました。基礎コンテストやノートコンテスト、定期考査の勉強に「やりがい」を見だし、工夫して努力しています。合わせて、「家で勉強しているときは家族が静かにしてくれた」という話をしてくれた人もいました。勉強に協力してくれた家族への感謝の気持ちを表現することもできました。

運動会や合唱コンクールでは、「放課後の時間を使っただけの活動は仕事の量も増えて大変だったが、実行委員で考えた練習方法にクラスのみんながついてきてくれたのがうれしかったし、勝敗・順位だけでなく、目標に向かって友達と協力できたこともうれしかった」という振り返りの感想がありました。仕事の量が増えて大変な中、自分の考えたことを実行することで「やりがい」を見だしました。また、友達と協力するためにはお互いを認め合うことが必要です。お互いを認め合うことで「感謝」の気持ちが生まれました。そして、学校での活動で「やりがい」と「感謝」という言葉を実感することにつながりました。

日頃お世話になっている介護施設の方に、「やりがい」と「感謝」について質問したことがあります。「私達は入所者が笑顔になってくださる介護を目指しています」、「一生懸命やっているのに、ということがあっても次は笑顔になってくださると思ひながら介護をします」、「日々入所者様と向き合うことが「やりがい」で、笑顔になってくださることに「感謝」しています」とおっしゃいました。入所者様のご家族からの「感謝」の言葉で「やりがい」を感じるという答えとともに、入所者様との生活そのものが「やりがい」であり、「感謝」であるというお話でした。この後は、「これからもよろしくお願いします」と返答するのが精一杯でした。

人は、将来を見通して勉強や仕事に励みます。富士中学校では、今後とも生徒自身が自分と向き合い、「やりがい」と「感謝」の気持ちを大切に活動を実施いたします。日々の活動は、学校ホームページ、学校だより、学年だより等で紹介させていただいております。どうぞご覧ください。

# 八丈方言かるた大会



生徒会企画で八丈方言かるた大会を1月14日(金)に開催しました。かるた大会に向けて八丈方言クイズを生徒会役員で作成して朝学活(12月20日～14日の間の6日間)に出題しました。かるた大会は白熱した戦いとなり、八丈方言に触れ合いながら仲を深めることができました。富士中学校は八丈文化と笑顔と共に令和4年を歩み始めました。(生徒会担当 田後)



学年対抗賞 優勝 第2学年

個人賞 金賞 佐々木 美貴さん 99枚 銀賞 山下 木苺さん 86枚 銅賞 中島 姫華さん 67枚

持丸結衣さん(生徒会役員) 始めの言葉

これから八丈かるた大会を始めます。今まで朝学活の時間にたくさん島言葉クイズをしてきました。手札の意味をわかったうえで取れるように頑張りましょう。今日は同学年同士でも他学年同士でも戦うのであまり話したことの無い人と当たることもあると思います。少しでも仲を深められるようにしましょう。

小泉しゅうさん(生徒会役員) 終わりの言葉

かるた大会、お疲れ様でした。皆さんは楽しく行うことができましたか?今、八丈方言は消滅危機言語に分類されています。私は、みんなで八丈方言を使う機会を増やし、消滅の危機を少しでも防ぎたいです。これからもこの伝統的な八丈方言を大切にしていきたいと思います。

## 「情報リテラシー向上会議」と講演会・ワークショップ型研修会

2月4日(金)、本校体育館にて「情報リテラシー向上会議」と題して総合の授業と、その後に本校の教育研究をテーマにした講演会とワークショップ型研修会を行いました。5時間目の「情報リテラシー向上会議」の第1部では、代表生徒が堂々と今年度取り組んできた学習活動について発表を行いました。また、その様子は別室で見守っていた生徒たちにも強い印象を与えたようです。また、第2部では地域コーディネーターの長田さんと有志生徒がパネルディスカッションを行い、自分たちの将来や八丈島のことについて意見を交わしました。

その後の講演会と研修会では、甲南女子大学教授の村川先生に「未来の創り手に求められる資質・能力とタテヨコ連携」についてご講演いただき、その後地域や学校間の連携について、富士中の教員・近隣小中高の

教員に加えて生徒も参加して意見を交わし、そこでまとめた意見を発表・共有しました。中には生徒がグループの代表として発表する場面も見られ、成長した姿を見ることができました。富士中学校では、今後もICTを活用しながら生徒の能力を伸ばしていけるよう教育活動を推進していきます。ICTを活用した生徒たちの今後の活躍をご期待ください。

(研究・研修担当 木下)





～富士中学校 感染症対策～

富士中学校が実践している感染症対策について、ご紹介します。日々換気を行い、流し場やトイレ前の洗面台、各教室などの様々な場所にアルコールを設置しています。また、1月中旬ごろからアルコール消毒ディスペンサーを職員用玄関と生徒用玄関に設置し、感染症対策を徹底しています。



# オリ・パラ講演会

オリンピック・パラリンピック講演会を1月31日（月）6校時に行いました。今までこの講演会ではアスリートを呼んで、実演も含めて苦労話や出場したときの体験談を話してもらうことが多かったのですが、今回は裏方で支える方の経験を話してもらいました。

今回の講師である下山先生は現役の中学教員でありながら、東京陸上競技協会理事や日本陸上競技連盟指導者養成委員なども行っており、日頃から陸上競技の普及活動に取り組まれています。東京オリンピック・パラリンピックでは、陸上競技のサブトラック（練習場）の管理責任者を担いました。選手たちが晴れの舞台に出る前に最後の仕上げをする場所であり、ここでの仕上がり具合では競技成績が左右されるため、その責任は想像以上の重さがあります。「お・も・て・な・し」をキャッチフレーズに招致した大会だけに、選手たちのあらゆる要求に応えなければならない部署での苦労は並大抵のことではなかったはずです。陸上競技を知らない組織委員会の人たちと、少しでも自分を有利にしたい選手たちの間に立って、言葉にはできない苦労の一端を話してもらいました。

持丸結衣さんのお礼の言葉をはじめ、その後書いてもらった生徒の感想には次のような言葉が並んでいました。

- ・オリンピック・パラリンピックの表しか知らないけど下山先生の話聞いて裏側の大変さを知った。
- ・オリンピック・パラリンピックのボランティアが思っていたよりもブラックだった。
- ・大変そうだけど次に日本でオリンピックをやるときはやってみたいと思った。(担当 氏部)



# 学校保健委員会



1月25日(火)、三根学園の学校保健委員会を小学校と合同で開催しました。昨年度はコロナウィルス感染拡大防止のため、紙面開催としましたが、今年度は富士中学校を会場に行いました。小中合同で行うのは6年目です。

第1部は、定期健康診断の結果と課題の報告、学校医の木村和義先生から感染症について、学校歯科医の菊池一江先生から歯科全般に関するお話でした。木村先生から感染症の予防策として、マスクをしていても声の大きさや距離に気をつけること、手洗いは時間をかけること、手指消毒のアルコールは乾くまですり合わせる等のお話がありました。一江先生からは、小学生はむし歯、中学生は歯肉炎が増えてくる。離島という環境で親元を早くに離れる人が多いので、セルフコントロールする力を身に付けさせたい、とのお話がありました。

第2部では三根学園のスクールカウンセラーである瀬川智佳子先生から「心を元気に保つために〈上手に叱る〉」のテーマでお話をしていただきました。まず、「最近子供を叱ったこと」というテーマで隣の人と話をした後、全体で、叱ることのプラス面マイナス面、叱らないことのプラス面マイナス面を共有しました。怒りとは自然な感情の一つであり、「大事なこと」が脅かされたときに自分を守るための防衛感情である、怒りの正体は自分の基準やルール・親はこうあるべきという「べき思考とのギャップ」からおきるので、このギャップを小さくするために自分の親としての基準をはっきりと伝えておくことが大切であるというお話がありました。上手な叱り方として、**明確な基準**「こういう理由だから」、**リクエスト**「～してほしい」、**態度・言い方**「一息ついて穏やかに、目線を合わせて、ゆっくりとした口調、1対1で」が大切で、まずは小さなことからやってみましょう、とアドバイスをいただきました。



1時間という限られた時間に、盛りだくさんの内容で開催しましたが、有意義な時間を過ごせたとの感想をいただきました。いただいたご意見、見えてきた課題を次年度につなぎ、9年間を通した健康教育のために、小中で取り組んでいきます。お忙しい中お集まりいただいた校医の先生方、役員の皆様、ありがとうございました。(養護教諭 川口)



## ～3月の主な予定～

|        |            |        |         |
|--------|------------|--------|---------|
| 1日(火)  | 都立入試一次合格発表 | 11日(金) | 3年生を送る会 |
| 3日(木)  | 避難訓練       | 15日(火) | 卒業式予行   |
| 5日(土)  | 展示会一般公開1日目 | 18日(金) | 卒業式・祝う会 |
| 6日(日)  | 展示会一般公開2日目 | 24日(木) | 大掃除     |
| 8日(火)  | 生徒会朝礼      | 25日(金) | 修了式・離任式 |
| 10日(木) | 保護者会       |        |         |

